

議会だより

特集

**農業後継者クラブ
インタビュー**

「農メン」たちの挑戦

Contents

特集	2
決算審議	4
議案等審議	6
請願・陳情の審査結果	9
一般質問（質問者 7 名）	10
閉会中の議会活動	15
次回定例会の開会予定	16

* 特集 *

農業後継者クラブ インタビュー

「農メン」たちの挑戦

今回は、那珂市農業後継者クラブ、井上大輔さん（30）、大森義之さん（28）、綿引太一さん（27）の3人の方に取材をさせて頂きました。

農業を仕事にしようと思った理由、また携わる上での悩みや苦労などそして将来についての取り組みなどお話を伺いました。



気に入ってもらえる作物を作りたい 那珂市の農産物をもっとアピールしたい

農業を仕事にしようと思った理由やきっかけを教えてください。

井上さん 子供の頃から家の仕事を手伝っていたことと、高校、大学共に農業系に進学したためです。

大森さん 親の仕事を子供の頃から見ていたことと、農業学校の社会人研修を受

けて自分でも野菜を作ってみたいと思いました。

綿引さん トマト作りを教わった師に憧れて農業の世界に入りました。

どのような作物を作っていますか。また、作物を作る上での工夫や、秘訣などがあれば教えてください。

井上さん ぶどう、水稲を作っています。ぶどうの講習会が定期的に行われているので、その時学んだことを活かして栽培技術の向上に取り組んでいます。

大森さん スギ、ヒノキ、マツ、コナラ、クヌギ等の苗木のほか、苗木の輪作として陸稲も作っています。

前作を考慮しての施肥設計と殺虫殺菌の徹底、毎日の観察による異常の早期発見を心がけています。

綿引さん 温室ハウスでトマト（桃太郎）を作っています。「気に入って食べてもらえるトマトを」をモットーに土づくり、管理を行っています。



井上大輔さん



綿引太一さん



大森義之さん



農業に携わる上での悩みや苦勞、将来への不安などありますか。

井上さん その年の天候に合わせて栽培管理をしなくてはならないことです。

大森さん 経験が浅いので自分主導で規格に合わせた作り方ができるのか、また、苗木生産者が高齢化していることも不安です。

綿引さん 仕事柄、休みが取りにくいことです。

農家として市や議会に期待すること、要望したいことはありますか。

井上さん ほかの自治体のように農業への補助が下りればいいのと思っています。

大森さん 産業祭で那珂市農産物をもっとアピールできないかと思っています。

綿引さん 農業に携わっている若い世代にも健康診断の補助をお願いしたいです。

決算審議

平成27年度のお金の使われ方を確認しました

一般会計歳出決算

186億1798万円

特別会計歳出決算総額

150億7444万円

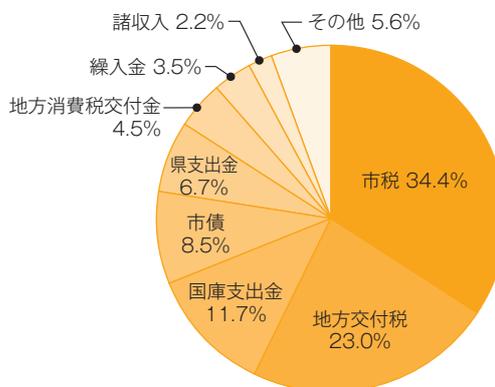
※上記金額は、千円台を四捨五入したものです。

一般会計	
	186億1797万9863円
特別会計	
国民健康保険	68億2221万8899円
下水道事業	24億506万2600円
公園墓地事業	1207万2785円
農業集落排水整備事業	9億5307万4989円
介護保険	42億4115万2349円
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	1億1582万5673円
後期高齢者医療	5億2503万5563円
水道事業会計	
収益的支出	9億6280万9915円
資本的支出	8億112万3632円

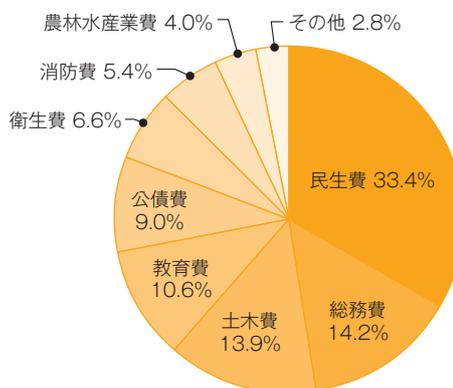
会計別歳出決算額

8月30日に、市長から平成27年度の決算が提出されました。決算の審議は、9月6日から8日の3日間にわたって、各常任委員会で行われました。その結果、平成27年度の決算は全て認定されました。

ここでは、今回確認した平成27年度のお金の使われ方と、主な事業についてご紹介します。



一般会計歳入



一般会計歳出



両宮排水路整備事業

事業費（繰越明許費含む）
1億4332万7442円

両宮排水路（菅谷～田彦）未整備区画を整備し安定した排水処理と冠水被害を抑制し安心安全なまちづくりを進める維持管理費になります。



空き家調査事業

事業費（繰越明許費含む）
427万2900円

全69自治会に委託し、空き家調査を実施しました。戸数及び空き家件数に応じ委託料を支払いました。那珂市内戸数2万1400戸中、空き家は877戸あることが判明しました。



国民健康保険特別会計 （事業勘定） 決算

事業費
68億2221万8899円

那珂市では国民健康保険加入者数、加入率が減少しています。しかし療養給付費を含む医療費合計は平成24年度約36億円から平成27年度約40億円と年々増加しています。



下菅谷地区 まちづくり事業

事業費（繰越明許費含む）
2億1177万7510円

災害時避難路に通じる生活道路の整備と防災・救助活動拠点となる広場の整備等の委託料などです。

●平成28年 第3回定例会 ●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 8月30日～9月16日

《傍聴者 92人》

今回審議した議案等は
市長提出案件…15件
請願・陳情…2件
議会提出案件…2件
計19件

提出された議案等とその結果

※請願・陳情の内容は別途掲載しております。9ページをご覧ください。

議案等番号	議案等名	内容	結果
報告9	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。	—
報告10	平成27年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による健全化判断比率の状況について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく那珂市の健全化判断比率の報告。	—
報告11	平成27年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による資金不足比率の状況について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく那珂市の資金不足比率の報告。	—
議案68	那珂地方公平委員会規約の一部を変更することに関する関係地方公共団体の協議について	那珂地方公平委員会の事務が東海村から常陸大宮市に変更されることに伴う規約の一部変更。	可決
議案69	那珂市印鑑条例の一部を改正する条例	マイナンバーカードを用いた各種証明書のコンビニ交付において印鑑登録証明書を交付できるようにするための一部改正。	可決
議案70	那珂市手数料条例の一部を改正する条例	マイナンバーカードを用いた各種証明書のコンビニ交付における手数料の規定について書き加えるための一部改正。	可決
議案71	那珂市ペット霊園の設置等に関する条例	ペット霊園が公衆衛生や公共の福祉等への支障なく設置、管理されるための措置を講ずるための条例の制定。	可決
議案72	平成28年度那珂市一般会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ1億8299万5000円を追加し、総額を186億1344万5000円とするもの。主な内容は、起債償還元金の増額など。修正により総額は185億9794万5000円となった。	修正可決
議案73	平成28年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ75万6000円を追加し、総額を69億75万6000円とするもの。内容は、国民健康保険事務費の増額。	可決
議案74	平成28年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ65万2000円を追加し、総額を20億3665万2000円とするもの。主な内容は、職員人件費の増額など。	可決
議案75	平成28年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ58万5000円を減額し、総額を9億2541万5000円とするもの。主な内容は、職員人件費の減額など。	可決
議案76	平成28年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ6035万8000円を追加し、総額を45億4335万8000円とするもの。主な内容は、償還金の増額など。	可決
議案77	平成28年度那珂市一般会計補正予算（第4号）	歳入歳出それぞれ1621万円を追加し、総額を186億2965万5000円とするもの。内容は、農地・農業用施設補助災害復旧事業の増額。議案第72号の修正により総額は186億1415万5000円となった。	可決



議案等番号	議案等名	内容	結果
認定1	平成27年度那珂市各種会計歳入歳出決算の認定について	前年度決算。4ページを参照。	認定
認定2	平成27年度那珂市水道事業会計決算の認定について		認定
発議2	災害対応調査特別委員会の設置について	災害時の議会及び議員の対応指針等について調査・研究する特別委員会の設置。	可決
選任3	災害対応調査特別委員会委員の選任について	災害対応調査特別委員会の委員17名の選任。	選任
請願2	「那珂市民の安全確保のために日本原電と茨城県及び東海村等が締結した『原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書』の見直しを求める行動を要請する意見書」の採択を求める請願	提出者：先崎千尋 ほか10名	継続審査
請願3	教育予算の拡充を求める請願	提出者：茨城県教職員組合 吉田豊 ほか228名	採択

賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

※議長(中崎政長議員)は採決にわりません。

議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		大和田和男	富山 豪	花島 進	中崎 政長	筒井かよ子	寺門 厚	小宅 清史	綿引 孝光	木野 広宣	古川 洋一	萩谷 俊行	勝村 晃夫	笹島 猛	助川 則夫	君嶋 寿男	遠藤 実	福田耕四郎	須藤 博
議案第72号 平成28年度那珂市一般会計補正予算(第3号)(修正案)	修正可決	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×
議案第72号 平成28年度那珂市一般会計補正予算(第3号)(修正以外の部分)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務生活常任委員会

◆議案第72号

平成28年度那珂市一般会計補正予算(第3号)

○財産管理事務費(1614万円)

これは、菅谷地内の空き家となっていた物件を、那珂市が今年4月に寄付を受け、その建物の解体費用1550万円を計上したものです。この物件は建物を取り壊した後公売で売却するということでしたが、売却価格で工事費用は全く賄えません。「寄付を受けた経緯があいまいである」「相続の問題で10年以上課税が保留されていた固定資産税をさかのぼって請求しないのは不適切ではないか」「寄付を受ける前に議

会に説明がなかったのはおかしい」「いつ誰が判断したのか」などの意見が出されました。採決の結果、委員会では3対2で可決すべ

きものとなりました。

◎その後の経過 (全員協議会・本会議)

全員協議会では、「市長の命を受け交渉に当たった担当は今年3月に退職して詳細を知る者は他にいない」「事前に議会に相談しなかったのは申し訳なかつた」との答弁が副市長からありました。

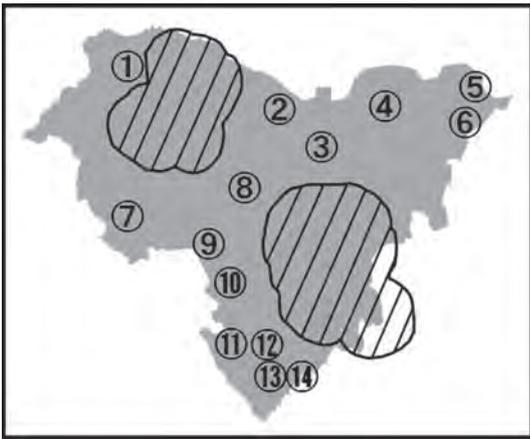
本会議においては3人の議員から反対討論が行われました。「内容が不透明であり、詳細の説明を受けずに可決しては市民への説明責任が果たせない」ということで、議案第72号補正予算案を修正する動議が議員6人から出されました。結果、その部分1550万円を除いた修正案が11対6で可決されました。

その際、執行部には早急に臨時の安全対策を行うことを申し入れ、市長からも「市民の安全を第一に」との発言がありました。

◆報告事項
那珂市区域指定（素案）
について

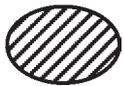
「茨城県における区域指定条例の基本的な考え方は市街化区域に隣・近接しているかないかにかかわらず、おおむね50以上の建築物が連たんしている既存集落を対象に区域指定を行うことである。」とあります。

（1）11号区域（幅広く指定）既存宅地制度の代替措置として、市街化区域に



区域指定が予定されている地区

- | | |
|---------|-----------|
| ① 静地区 | ② 門部地区 |
| ③ 南酒出地区 | ④ 額田地区 |
| ⑤ 本米崎地区 | ⑥ 本米崎地区 |
| ⑦ 戸地区 | ⑧ 鴻巣地区 |
| ⑨ 飯田地区 | ⑩ 豊喰地区 |
| ⑪ 西木倉地区 | ⑫ 東木倉地区 |
| ⑬ 中台地区 | ⑭ 中台・津田地区 |



市街化区域（住居系）及びそこから概ね1キロメートルの範囲（那珂市では指定しない）

隣・近接している集落を対象とする。

（2）12号区域（限定的に指定）集落のコミュニティ維持を図るため、市街化区域から離れている集落を対象とする。

となつています。那珂市では、区域指定導入による発展においては「市全体の人口バランスの確保」は重要なポイントです。

導入のメリットは、市街化調整区域の立地規制が緩和される点です。また、デメリットは市街化調整区域の立地規制が緩和されること

とに伴い、逆に市街化区域への誘導効果が弱くなることから市街地の形成が難しくなる点と考えられます。

本市においては、市街化を促進する恐れがない12号区域に限り区域指定を行うとの説明がありました。

「街区が気になる。道路に對してどうあるかが大切ではないか」

「人口増については考えているのか、人口増の制度ではないのか」

「指定後見直しはあるのか」

「他の自治体は11号、12号両方行っているのになぜ12号に限定するのか」
など、委員から様々な意見が出されました。

教育厚生常任委員会

◆議案第72号

平成28年度那珂市一般会計補正予算（第3号）

○瓜連保育園増改築費補助金（3756万8000円）

Q どのくらいの規模の増改築となり、受け入れ定員は何名増となりますか。

A 236.8平方メートルの増床で30名の定員の増となります。

◆報告事項

那珂市公民館規則の一部を改正する規則について

那珂市公民館では、休館日が国民の祝日である場合は、その翌日を休館日としています。利用者の利便性を考慮し、毎週月曜日を休館日とする規則に改正します。

Q 3連休を使ったイベントの開催は今後できなくなるということですか。

A 館長が必要だと認めた場合は月曜日の祝日でも開館が可能となる規則になっています。

請

願

陳

情

議会構成

災害対応調査特別委員会

今回の定例会で審議した請願・陳情の概要をお知らせします。

《請願 2件／陳情 0件》

※請願第2号は、継続審査となりました。

請願第3号

教育予算の拡充を求める請願

採択

水戸市笠原町978・46

茨城教育会館2F

茨城県教職員組合

吉田 豊 ほか228名

教職員の多忙化や学校をとりまく状況の複雑化が大きな社会問題となっている中で、子供たちの豊かな学びを保障していくために、

計画的な教職員定数改善の

推進、義務教育費国庫負担

制度の堅持、災害からの教

育復興のための予算措置の

継続を求めるものです。

本会議での採決の結果、全

会一致で採択すべきものと

決定し、国の関係機関に対

して意見書を提出すること

としました。

災害時の議会及び議員の

対応指針の作成、議員間の

連絡体制の確立及び市との

連携体制等、安心安全なま

ちづくりに関して調査・研

究を行うことを目的とし

て、新たに災害対応調査特

別委員会を設置します。

◆調査事項

1 市議会災害対応指針の

策定に関する事項

2 災害時の議員連絡体制

の確立に関する事項

3 災害時の市との連絡体

制の確立に関する事項

◆委員（17名）

◎萩谷 俊行 委員

○綿引 孝光 委員

大和田和男 委員

富山 豪 委員

花島 進 委員

筒井かよ子 委員

寺門 厚 委員

小宅 清史 委員

木野 広宣 委員

古川 洋一 委員

勝村 晃夫 委員

笹島 猛 委員

助川 則夫 委員

君嶋 寿男 委員

遠藤 実 委員

福田耕四郎 委員

須藤 博 委員

※◎委員長、○副委員長

一般質問

Q & A

《質問者 7名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しています。

P11 花島 進 議員

- ◇日本原電、東海第二原子力発電所の運転再開等に関して
- ◇職員の処遇について
- ◇額田城址の整備などについて

P11 笹島 猛 議員

- ◇区域指定制度について
- ◇市民の健康づくりと予防対策について

P12 小宅 清史 議員

- ◇病児保育・障がい者保育の環境について考える
- ◇図書館の利活用・PRについて考える
- ◇市民後見人制度について考える
- ◇那珂市の観光行政について考え直す

P12 寺門 厚 議員

- ◇高齢者福祉について

P13 古川 洋一 議員

- ◇通学路の安全対策について
- ◇選挙権年齢の引き下げについて

P13 遠藤 実 議員

- ◇旧日本サーボ跡地の利活用について
- ◇学校給食安全対策について
- ◇待機児童解消策について

P14 大和田和男 議員

- ◇子どもたちを取り巻く教育環境について
- ◇学校施設の整備について
- ◇市長のトップセールスについて

一般質問とは…

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

日本原電、東海第二原子力発電所の運転再開等に関して

原子力施設監視に専門能力が必要 県の体制は十分と考えるが



花島 進 議員

Q 6月2日に東海第二原発で、廃液漏れがありました。日本原電から原子力規制委員会に報告書が出されています。それを見ると、漏れた原因を界面活性剤の混入とするのみで、調査に伴って明らかに見えたはずの問題、貯蔵タンクの水位計測がしっかりしていないこと、施設の補助的な配管の管理がずさんなことを重く受け止めていません。周辺自治体、せめて茨城県職員には、そういう問題を見抜いて指摘できる専門的な知識が必要と考えます。茨城県の専門職の強化を要請してほしい。

A 市長 茨城県に現在の状況を確認したところ、原子力規制庁へ職員を研修生として派遣するなどの他、学識経験者を茨城県原子力審議会や原子力安全対策委

員会に入れているため、十分な体制と聞いています。専門職のさらなる充実については、いろいろな会合の場で、お話ししていきたい。

Q 茨城県の原子力安全対策委員会についてみると、14人の委員の内、原子炉工学と核燃料工学の分野で計5人の委員がいますが、一人を除いて、東京大学の大学院工学科の教授または准教授です。福島事故は、こういう方々が失敗した結果でもあります。学識経験者だから良いとする考えでは住民の安全は守れません。

A 市長 確かに推進派と慎重派と両方入って議論するのが正しい仕方だと思います。いろいろな会合がありますので、機会があればお話ししていきたいと思えます。

市民の健康づくりと予防対策について

脳ドック検診の受診者へ助成を 助成について検討します



笹島 猛 議員

Q 市では、予防事業ということで平成28年度から国民健康保険加入者で特定健診を受けないで、人間ドックを受診した方に5000円の助成をしています。隣接市町村における実施状況と助成費用について伺います。

A 保健福祉部長 隣接市町村の実施状況ですが、水戸市、ひたちなか市、東海村、常陸太田市、常陸大宮市、城里町において、人間ドック・脳ドックの助成がされています。助成額は概ね費用の半額から7割相当額が助成されております。

Q 早期発見・早期治療の効果は、医療費に跳ね返ってきます。隣接市町村並みの助成金額と検診助成者人数を増やし、また、脳ドック受診者に対しても助成を行ったらどうですか。

A 保健福祉部長 助成金額については、那珂市国民健康保険特定健診受診促進助成金交付要綱に基づき、特定健診の市の負担相当額を助成しております。また、脳ドック受診者に対する助成ですが、交付要綱に規定する検査項目を満たす検査については、助成について検討します。

Q 健康に暮らすなら那珂市ですと、検診を受けるなら那珂市ですと言われるくらい取り組みが必要と思えますが、市長の見解を伺います。

A 市長 市では、各種検診を通して、病気の早期発見・早期治療へと結びつけ、市民の健康の維持・向上へと結びつけているところで、今後も積極的に検診事業を展開し、市民の健康管理へと努めてまいります。

図書館の利活用・PRについて考える

静脈認証を採用している図書館は 現在のところ那珂市立図書館のみ



小宅 清史 議員

Q 那珂市立図書館は開館から11年目になりました。図書館は市内で一番人が訪れる公共機関と言えます。そこで更に『菅谷まちづくり委員会を図書館へ移す』『夜間開放を可能にする』『常設展示場スペースを作る』という提言をし、『図書館を中心においたコミュニティのまちづくり』というのを私は提唱したいと思っています。これからの図書館は一步進んで、まちづくりの拠点、としての機能を有していくことが求められるのではないのでしょうか。さらに全国唯一の手のひら静脈認証もPR次第では観光の場としても有効利用可能とも考えますがどうでしょうか。

A 教育部長 菅谷まちづくり委員会主催の「菅・まち・テラス」は図書館敷地

内において開催されており、本年度は年7回開催される予定です。毎回盛況であり、図書館としても、継続して協力していきたいと思っております。また、不定期ではありますが、エントランスホールをご利用いただき、障がい者就労支援事業所による物品販売会を開催していただいております。このように、地域に開かれた図書館として、また本来の目的である幼児から高齢者に至るまでのさまざまな学習意欲に応えられる「すべての市民の知識の道標となる図書館」、明るく開放感のある雰囲気大切に「いつでも気軽に立ち寄れる図書館」を目指していきます。

高齢者福祉について

認知症予防教育小学生から実施を 教育委員会と協議し推進



寺門 厚 議員

Q 那珂市は、平成37年には認知症の方が1990人にもなる。この方々が要介護者にならないためにも認知症予防策が急務です。予防施策として「認知症ケア・パス」を作成普及予定ですが、いつ作成し、どのように活用していきますか。

A 保健福祉部長 市内全世界帯及び病院等の医師や外来者、介護関係研修会や薬局等へ配布し、9月の茨城県認知症を知る月間に、認知症の早期発見や認知症予防の取り組みを推進します。

Q 認知症予防はまず知ること理解することが重要で市では認知症サポーターを養成していますが、更に理解者を増やすために、小学生対象に認知症教育を行います。周知してはいかがですか。

A 保健福祉部長 教育委

員会と協議を行い進めていきます。

Q 今後増大する高齢者福祉諸事業費用の財源確保が厳しい状況です。対策案の一つとして、福祉活動やボランティア等、活動ポイントとして積み立て、自身の介助や介護時にポイントが使える、また商品等と交換ができるシステムの福祉支援積立互助制度を設置し稼働してはいかがですか。

A 保健福祉部長 現時点での検討は難しいと考えています。

Q 厳しい財政情勢が激化する中、難しいではなく如何にすればできるのかをしっかりと継続検討すべきです。市長の見解を伺います。

A 市長 介護ボランティアポイント制度についての検討、導入は難しいと考えています。

通学路の安全対策について

通学路である踏切道の安全対策を

早急に対応します



古川 洋一 議員

学校給食安全対策について

なぜ市長自らチェックしないのか

私が見たところで同じです



速藤 実 議員

Q 本市では通学路交通安全全プログラムにより、関係機関（学校PTA・市役所各課・警察署・県土木事務所）で対策必要箇所について毎年合同点検会を行っているとのことですが、市内には通学路に指定されている踏切道が26箇所あるにも関わらず危険箇所が含まれておりません。特に登校時間は出勤時間とも重なり、多くの歩行者・自転車・自動車が狭い踏切道を渡りますので、接触してもおかしくない状況にあります。事故防止のためにも踏切道の拡幅が急務だと思いが、いかがでしょうか。

A 建設部長 踏切道調整会議を通じてJRに要望していますが、協議の段階には至っていません。

Q 整備はおろか協議の段階にも至っていないからと

いって、危険と分かっているが何も良くなかという事です。安全対策の一つとして、単なる「踏切注意」といった注意喚起ではなく、人に優しい那珂市らしく、「歩行者や自転車の通行を優先させましょう」といった思いやりとか譲り合いを促すような看板の設置はできませんか。

A 建設部長 車両からの視界確保、設置スペース等を再確認し、それぞれの箇所に適した看板を設置できるように、早急に対応します。



踏切で車両が通過するのを待つ児童たち

Q この1年間で学校給食にプラスチックなどの異物が混入する事象が4回発生しています。またそのうち3回は原因が特定されておらず、適正な対応が取れない状態ですが、決して同じ過ちを繰り返さないでいただきたい。これ以上発生しない工夫は。

A 教育部長 危機管理マニュアルの作成や関係者対象の衛生講習会を実施しました。また、整理整頓、清潔清掃、しつけ等のルール厳守を徹底します。

Q 1年前に異物混入が2回あった時点の一般質問で、市長に「センターに見に行ったか」と質問しましたが「まだ見に行っていない」との答弁でした。その後行かれましたか。

A 市長 今朝、訓示をしてきました。

Q 今日までの間、1回も行っていないのでですか。民間であれば生産ラインを止めて執行部は辞職するくらいの社会的責任。なぜ自らチェックをしないのか、現場の人と話さないのか。私は給食センターに伺い現場の方ともお話ししましたが、やはり再発防止に關してのチェック体制は市幹部の意識の問題。命を預かるといふ意識でやっていたいただきたいが、どうですか。

A 市長 金属片の混入についてはセンター長や学校教育課長から私に結果が上がってきます。私が見たところと同じです。足を運ばなかったことは反省しなくてはいけないのかなと思いますが、しっかりした危機管理体制は敷いているつもりであります。

子どもたちを取り巻く教育環境について

放課後子供教室の創設を

素晴らしいが、調査研究が必要



大和田和男 議員

Q 障害者差別解消法施行に伴い、学校の多目的トイレの新規設置と既存トイレの洋式化を要望します。

A 教育部長 体が不自由な方が使用する多目的なトイレは大規模改修時に整備しますが、障害をお持ちの児童生徒が入学される場合は早急に実施します。菅谷東小は洋式トイレが1階のみの設置であるため早急に対応を検討します。

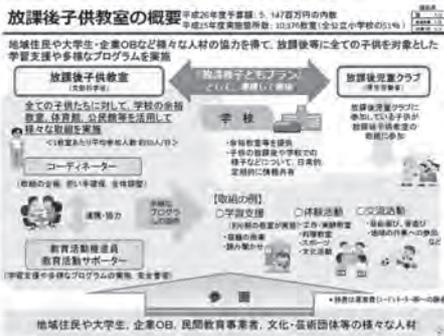
Q 子どもたちに向き合う時間を十分に確保するために、外部講師の拡充、教員の負担軽減を求めます。

A 教育部長 小中一貫教育推進のために小学校に9人の教科担任ができる講師を加配しています。今後も必要な講師の配置により教育環境の充実と担任等の負担軽減に努めていきます。

Q 放課後子供教室の創設

を提言します。

A 教育部長 放課後子供教室は実現できると素晴らしいですが、セキュリティの問題、地域の温度差、講師の確保等様々な課題をクリアしなければなりません。設立するにあたり詳細な調査研究が必要であると考えております。



放課後子供教室の概要

「～放課後子供教室等について～」(文部科学省)
(<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000054561.pdf>)



《議会改革と議員定数・報酬の改定について》

7月4日(月)
玉村町議会
(群馬県)



《議会改革について》

7月14日(木)
東近江市議会
(滋賀県)



《議会基本条例について》

7月27日(水)
伊万里市議会
(佐賀県)

ピックアップ

他市町村議会から多数の視察がありました

那珂市議会への視察の申し入れが増えてきています。ここでは6月定例会以降の3件をご紹介します。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（7月～8月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します。

教育厚生常任委員会の調査事項である子育て支援について7月に研修視察を行いました。

つくば市では、子育て支援センターの様々な取り組み、保育園での病児保育の状況について説明を受けました。病児・病後児保育は、女性の活躍を推進する大き

な支援であると考えます。

神奈川県厚木市では、幼稚園送迎ステーションや短時間の預かり保育、市民が24時間無料で利用できる健康相談ダイヤル等、多岐にわたるきめ細かな取り組みから、子育てに対する前向きな姿勢が強く感じられました。

衆議院議員会館において厚生労働省の方から、那珂市の子育て世代の多くが不安に感じている医師不足・病院不足について、現状と今後の方針等を説明していただきました。

子育て支援については、今後も更に調査を進めていきます。

子育てを支援する取り組みについて研修視察を行いました

活動日誌

7月

- 4日 玉村町議会視察来庁
- 5日 議会広報編集委員会
- 8日 議員勉強会
(障害者差別解消法の理解と障害平等研修)
- 12日 議会広報編集委員会
- 14日 東近江市議会視察来庁
- 21日 議会広報編集委員会取材
(那珂市農業後継者クラブ)
- 26日 議会運営委員会視察
(常総市・取手市)
- 27日 伊万里市議会視察来庁
- 28・29日 教育厚生常任委員会視察
(つくば市・厚生労働省・厚木市)

8月

- 2日 産業建設常任委員会
- 23日 議会運営委員会
全員協議会
議会広報編集委員会
- 27・28日 横手市議会友好交流



まちかど

ニュース

菅谷まつり堀之内地区前夜祭

平成28年8月14日(日)
ふれあい広場にて

次回 12 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29 本会議 (議案上程 など)	30	12/1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問)	3
4	5	6 総務生活 常任委員会	7 産業建設 常任委員会	8 教育厚生 常任委員会	9 原子力 安全対策 常任委員会	10
11	12	13	14	15 議会運営 委員会 全員協議会	16 本会議 (委員長報告 議案等採決)	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※会議は、原則として午前10時開会です。

平成28年第4回定例会：11月29日～12月16日

平成28年第4回(12月)定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっております。所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、11月18日(金)17時まで、議会事務局までご提出ください。

議会録画映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の録画映像を「You Tube」の動画サイトで公開しております。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。



(「那珂市議会」のページ内の「議会中継」から「You Tube」を開くことができます。)

編集後記

今定例会は最後に市長が「市執行部と議会は市民の皆さまの生活や安全を守るため両輪で進めなければならない」と挨拶をし、閉会した。まさにその通りである。

政治の延長に市民の皆さまの生活があることを肝に銘じて、那珂市議会は今後も活発な議論をしていかなければならない。

(大和田 和男)

議会広報編集委員会

- 委員長 小宅 清史
- 副委員長 大和田和男
- 委員 花島 進
- 委員 中崎 政長
- 委員 筒井かよ子
- 委員 木野 広宣
- 委員 遠藤 実